

議会報告会報告書

開催日時	平成27年12月22日(火) 午後6時00分 ~7時30分		
開催場所	日光総合支所 2階 大会議室		
出席議員	山越 一治	鷹觜 孝委	生井 一郎
	小久保 光雄	田村 耕作	川村 寿利
	代表者	山越 一治	司会者 川村 寿利
	報告者	全 員	記録者 全 員
参加者数	「日光老舗名店会」会長他5名		
報告内容	日光ブランド推進事業について		
《議会報告、意見交換に関する意見・要望》			委員会で協議を要する重要な政策要望と判断される提言等 (要否)
①	日光市合併したことにより新たなモチベーションが高まり、加えて日光ブランドを受けたことは誇りに思っている。		否
②	新商品開発の検討を手探りでやっているが、行政から指導・助言等をしてもらうことができないか。		否*
③	「認定後のプロモーション」のふるさと納税返礼品として活用する中で、苫小牧、八王子や台湾等の姉妹都市が弥生祭等で訪れた際に、例えば「日光老舗名店会セット」として、5店舗の羊羹を1つのセットにして日光ブランドに認定することができないか。(買物時間の短縮と日光市全域の利益になるアイデアとして)		否*
④	今市・鬼怒川・足尾等各地域で「老舗名店会」等が発足されれば、地域間競争力が高まり、ブランドの活性化に繋がると思われる。		否*
⑤	日光ブランドについて、今市・栗山・鬼怒川等それぞれの地域特産を競い合いながらブランドを認定してはどうか。		否
⑥	日光ブランドについては、今市・鬼怒川等まとめてブランド化が理想的である。		否
⑦	過去に大谷向で味噌を使った和菓子商品を開発した内容が新聞で報道された。合併して日光市になったが、自分達は今市に住んでいることを誇りに思い、今市ブランドを守っていく手段として新商品を開発した。はじめから日光ブランドありきではプライドが許せないと思っているのではないか。		否
⑧	日光ブランドに、日光羊羹が登録されてない。店が多数あるので、それだけでも羊羹はブランドとして価値があるのではないか。		否
⑨	ブランドは行政で作る物で無く、商店で作る物と思っている。創業100年になるが、その中で築いてきた口コミや評判等で広がっていくものがブランドであると認識している。		否
⑩	「日光老舗名店会」は、3代以上続いている店しか入会できないので、既にそれぞれのブランド価値を有している。		否
⑪	これからは食べ物の時代が来ると思われるので、スピーディーな食ブランド発信力のPR手法が不可欠である。		否
⑫	日光ブランドを認定していただいているが、作ってもらって終わってしまう恐れがあるので、継続的に的確なフォローをしていただきたい。		否
⑬	ブランド品目が多くて、お客さんが購入に迷うのではと危惧している。また、ブランドとしての価値が低下する恐れがある。		否
⑭	ブランド認定式が平成28年1月21日予定しているが、品目の追加はあるのか。あるとすればひとつのブランド化になってしまい、日光ブランドの格式が低下するので特選・厳選・日光ブランド等の仕分けが必要ではないか。		否
⑮	日光の天然水が、特選ブランドと食分野のブランドと二重に登録になっているがこのようなこともあり得るのか。		否*
重要な政策要望と判断される提言等の今後の対応について			
重要な政策要望と判断される提言等はありませんが、*印を付けた意見については、今後の所管事務調査の中で、執行部と協議していきます。			

議会報告会調整会議 主宰 副議長 様
上記のとおり、報告いたします。
平成28年 2月10日

総務常任委員会
代表者 山越 一治

